

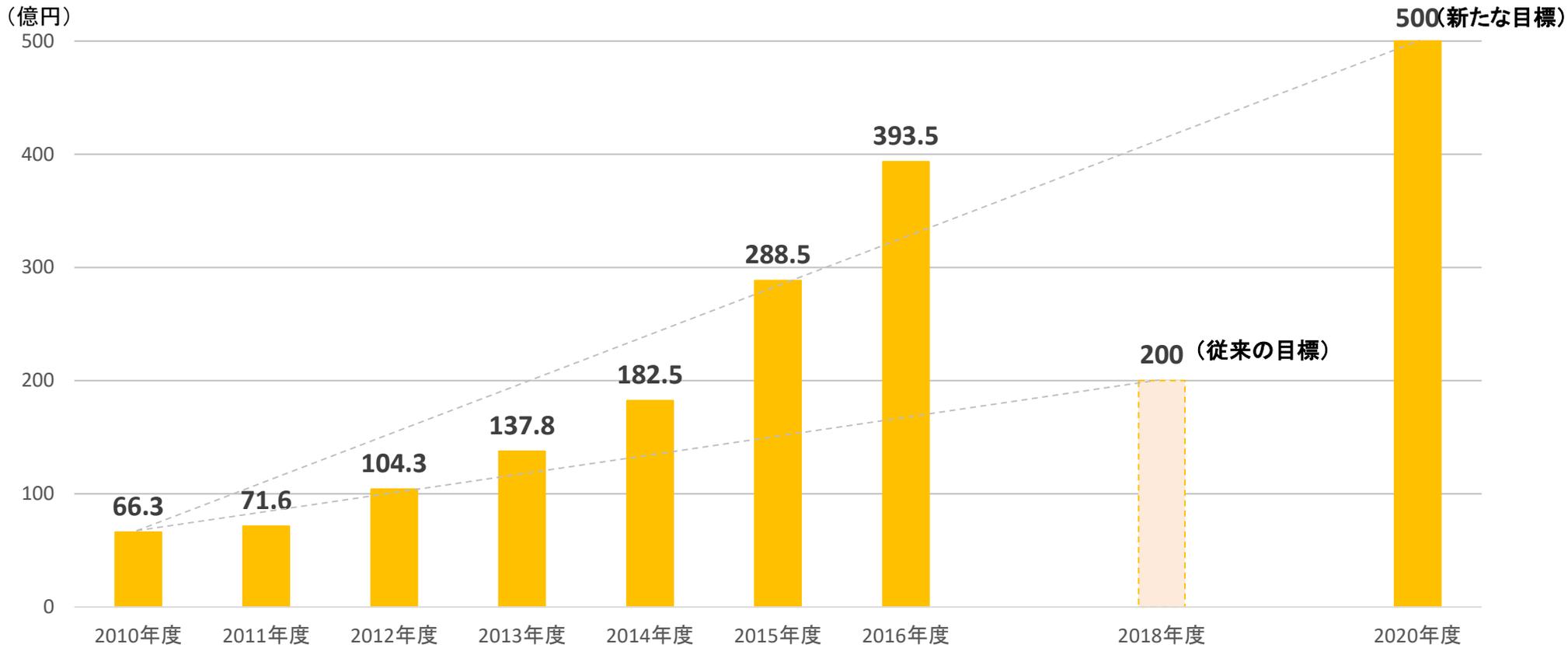
総務省提出資料

平成30年12月21日

総務省 情報流通行政局

日本の放送コンテンツ海外輸出額の推移

- 日本の放送コンテンツ海外輸出額は、2010年度以降、毎年増加を続け、2016年度末で393.5億円。
(対前年度比36.4%増)
- 放送コンテンツの海外展開については、従来の目標として、「2018年度までに放送コンテンツ関連海外市場売上高を現在(2010年度)の約3倍(※約200億円)に増加」としていたが、3年前倒しで達成。
- これを受け、新たな目標として、「2020年度までに放送コンテンツ関連海外売上高を500億円に増加」とするもの。



注: NHK、民放キー局、民放阪準キー局、ローカル局、衛星放送事業者、プロダクション等へのアンケートにより算出

未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定)

第2 II 経済構造革新への基盤づくり

[3]海外の成長市場の取り込み

(1)KPIの主な進捗状況

《KPI》2020年度までに放送コンテンツ関連海外売上高を500億円に増加させる。⇒2016年度:393.5億円

(3)新たに講ずべき具体的施策

iii)日本の魅力を活かす施策

②クールジャパン

・日本と海外の放送局等が、地域活性化のため、日本の魅力を発信する放送コンテンツを共同制作し、海外で放送する取組等を支援する。

規制改革実施計画(平成30年6月15日閣議決定)

II 分野別実施事項

6. 投資等分野

(4)放送を巡る規制改革(グローバル展開、コンテンツの有効活用)

a 放送コンテンツの海外展開の支援事業を継続的かつより積極的に行う。(23 放送コンテンツの海外展開の支援)

知的財産推進計画2018(平成30年6月12日知的財産戦略本部決定)

2 「知的財産推進計画2018」重点事項

(2)挑戦・創造活動を促す

③ コンテンツの持続的なクリエイション・エコシステムの確立

(施策の方向性)

・一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構(BEAJ)とも連携しつつ、日本の魅力を伝える放送コンテンツを制作し、継続的に海外に展開する取組を支援するとともに、放送コンテンツの海外展開に必要とされる人材育成や、展開先市場の調査に取り組むことで、インバウンドの拡大、クールジャパン、地方創生等に寄与する。

(参考)「未来投資戦略2018」における観光、農林水産分野のKPI

【観光】

訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人とすることを目指す。

⇒2017年:2,869万人(2012年:836万人)

【農林水産】

2019年に農林水産物・食品の輸出額1兆円を達成する(2012年:4,497億円)

⇒2017年:8,071億円

放送コンテンツの海外展開の促進

<概要>

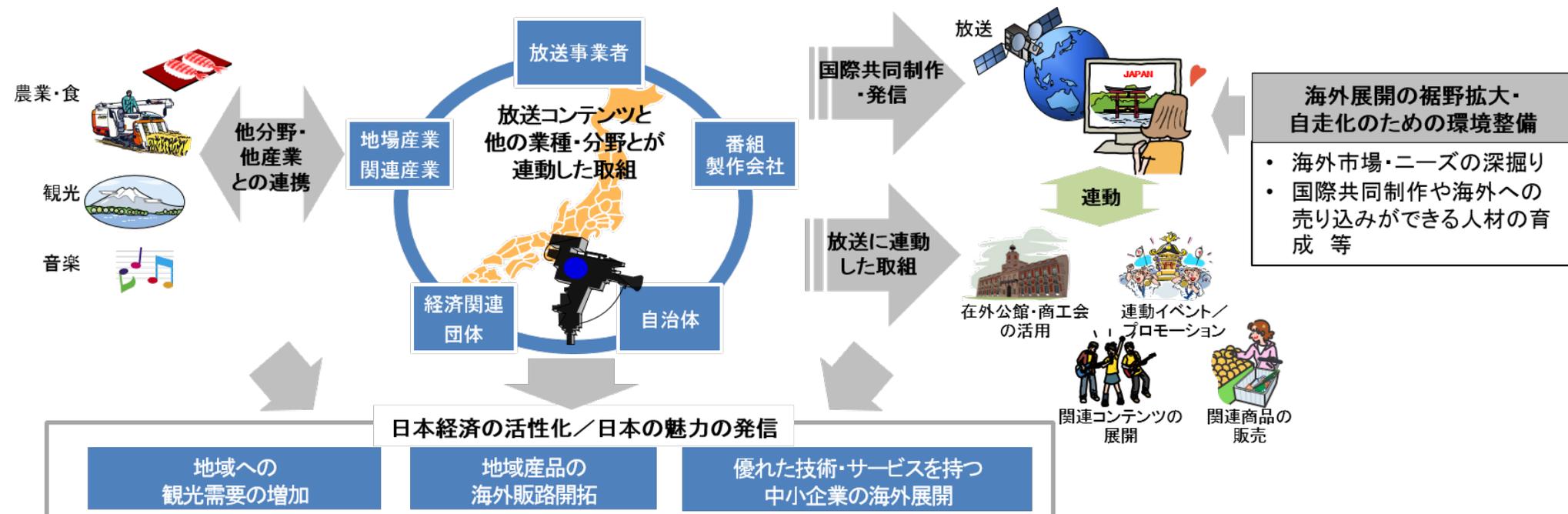
放送コンテンツを制作する民間事業者等と、観光業、地場産業、自治体等の関係者が幅広く協力し、インバウンド・アウトバウンドの拡大や地方創生等に資する放送コンテンツを制作、発信するとともに、これと連動するプロジェクトを一体的に展開する取組の支援等を行う。

H30年度二次補正予算案:

放送コンテンツの海外展開による我が国産業の国際競争力強化及び地域経済活性化支援事業 14.5億円

H31年度当初予算案:

放送コンテンツ海外展開強化事業 2.0億円



事業概要	放送コンテンツを制作する民間事業者等と、観光業、地場産業、自治体等の関係者が幅広く協力し、インバウンド・アウトバウンドの拡大や地方創生等に資する放送コンテンツを制作、発信するとともに、これと連動するプロジェクトを一体的に展開する取組の支援を行う。
目標	2020年度までに放送コンテンツ関連海外売上高を500億円に増加（従来目標を2015年度に3年前倒しで達成。）。
体制	2013年8月に設立した（一社）放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）（理事長：岡素之住友商事名誉顧問）と連携。
実績	2014年度から2017年度までの4ヶ年でアジアを中心に計156事業を採択。 平成29年度補正予算 放送コンテンツ海外展開総合強化事業 12.8億円 ※平成30年度については、45事業を実施中。アジアのほか、欧州、豪州等も対象としている。 平成30年度当初予算 放送コンテンツ海外展開強化事業 3.5億円

成果例①: It's Showtime (フジテレビ)

- フィリピンの地上波ABS-CBNにおいて、日本の各地域への観光や、地域製品の魅力を紹介する番組を放送（2015年度総務省支援事業）。
→番組で紹介した広島県熊野町の化粧筆が現地卸先と契約。



成果例②: J.K.K シーズン2 (日本テレビ・住友商事)

- マレーシアの人気ドラマのシーズン2を現地の地上波Media Primaと共同制作し、マレーシアで放送（2016年度総務省支援事業）。
→東南アジア等に対する輸出重点品目に含まれる「みかん」（柑橘類）等を紹介。また、国内ロケでは新幹線を利用し、PRするなど、関係省庁等と効果的に連携。



成果例③: 和食知新 (毎日放送)

- タイの地上波Channel 3において、タイの料理人が日本各地の和食の名店を訪れ、和食の技法を学ぶ番組を放送（2017年度総務省支援事業）。
→近畿日本ツーリストと連携し、番組で紹介した地域を訪れるツアーを販売し、約400名、600万円以上の売り上げを獲得。



成果例④: 行先は天国？地獄？ミャンマー人の「カンペ旅」 (静岡朝日テレビ)

- ミャンマーにおいて、静岡、長野、福島を巡る旅番組を放送（2017年度総務省支援事業。モデル事業の請負による全額補助）。
→ミャンマーで新工場を稼働させたスズキから、大型のスポンサーシップを獲得。
※ 2018年度総務省支援事業として事業実施中



(参考)これまでの放送コンテンツ海外展開事業

平成26年度	放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業	(H25補正)21.0億円	平成28年度	放送コンテンツ海外展開助成事業	(H28当初)2.2億円
平成27年度	地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業	(H26補正)16.5億円	平成29年度	放送コンテンツ海外展開基盤総合整備事業	(H28補正)13.4億円
平成28年度	放送コンテンツの海外展開総合支援事業	(H27補正)12.0億円		放送コンテンツ海外展開助成事業	(H29当初)2.4億円